

理学療法学科カリキュラムポリシー CP（教育課程編成・実施の方針）

理学療法学科では、本校の「建学の精神」を実現するために「医学的知識と実践的技術」「チーム医療の一員に対応できる能力」「問題解決能力」を身につける効率的にステップアップするため、以下の方針に基づいてカリキュラムを設定している。

- ・コミュニケーション能力、思いやりの心を身につける基礎科目
- ・医学的知識を身につける基礎・専門基礎科目
- ・実践的技術、問題解決能力を身につける専門科目
- ・チーム医療の一員として総合的な視点で理学療法の実践能力を養う臨床実習
- ・各授業科目のシラバスに到達目標を明確化し、成績は筆記試験、レポート、客観的臨床能力試験にて学修成果を数量化して適切に評定する。

① 基礎科目

ひとの行動や運動を理解することで、医療人としての素養を養う。「人間関係の理解」で、思いやりの心と豊かな知性を育成し、患者様に適切に行動できることを修得する。「健康と健康障害の理解」で、健康な人の運動効果を学び、健康についての興味を深める。「医療福祉と社会の理解」で、医療従事者として働くための患者の権利、情報の保護、コンプライアンスについて理解する。

② 専門基礎科目

患者様の状況に的確に対応した治療を提供するための基礎医学を学ぶ。「解剖生理学」で人体の構造と機能を学び、「内科学」「脳神経内科学」「整形外科学」でその機能異常で生じる病気の病態を理解する。

「基礎運動学」で、運動に関わる骨、筋肉の基本構造と役割を学び、健康な人の動きの理解を深める。「臨床心理学」で障がい者の心理と障害受容を理解する。「リハビリテーション総論」「臨床医学総論」でチーム医療における役割と連携について学修する。

③ 専門科目

理学療法士に必要な実践的技術、問題解決能力を学ぶ。「基礎理学療法学群」で、患者様の生活の苦痛や制限を把握し、その人にとって必要な効果的、効率的な理学療法介入を考える能力を養う。「理学療法評価学群」で、理学療法検査技術を正確に、迅速に、丁寧に測定できることを修得する。「理学療法治療学群」で、疾患特有の障害を理解し、効率的な理学療法介入と注意点を学修する。「地域理学療法学群」で、メディカルスタッフ（医療専門職）との意見交換能力を養い、患者様が住み慣れた地域社会への復帰を援助するための方略を学ぶ。

「臨床実習」で、実際の患者様と触れ合う経験をし、総合的な視点で理学療法方針を決定するための問題解決能力を身につける。